

令和5年度 北信越高等学校体育大会
第62回北信越高等学校陸上競技対校選手権大会
兼 秩父宮賜杯第76回全国高等学校陸上競技対校選手権大会北信越地区予選会

実 施 要 項

主 催 北信越高等学校体育連盟・富山県高等学校体育連盟
共 催 富山県教育委員会
後 援 富山市
主 管 一般財団法人 富山陸上競技協会

1 期 日

- (1) 開始式 令和5年6月15日(木) 13時00分
- (2) 競 技 令和5年6月15日(木)～6月18日(日)
- (3) 閉会式 令和5年6月18日(日) 15時30分(予定)

2 会 場

富山県総合運動公園富山県陸上競技場
〒939-8234 富山県富山市南中田 368 番地
T E L 076-429-8835 F A X 076-429-8836

3 競技種目

(男子) 21種目

100m・200m・400m・800m・1500m・5000m・110mハートル(1.067m)・400mハートル(0.914m)
3000m障害物・5000m競歩・4×100mリレー・4×400mリレー
走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投(6.0kg以上)・円盤投(1.75kg以上)
ハンマー投(6.0kg以上)・やり投(800g以上)・八種競技

(女子) 20種目

100m・200m・400m・800m・1500m・3000m・100mハートル(0.838m)・400mハートル(0.762m)
5000m競歩・4×100mリレー・4×400mリレー
走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投(4.0kg以上)・円盤投(1.0kg以上)
ハンマー投(4.0kg以上)・やり投(600g以上)・七種競技

4 競技日程

別紙のとおり

5 競技規定

2023年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項による。

6 競技方法

- (1) 学校対校とし、男子および女子別の種目得点合計によって順位を決定する。
- (2) 各種目得点は、1位8点・2位7点・3位6点・4位5点・5位4点・6位3点・7位2点・8位1点とする。

7 引率・監督者について

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、各県高体連会長に事前に届け出る。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

ただし、各県に規定があり、引率・監督がこの基準により限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

8 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、北信越5県各県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技実施要項により大会の参加資格を得た者に限る。
- (3) 各県陸上競技協会を経て公益財団法人日本陸上競技連盟に登録された競技者であること。
- (4) 年齢は、平成16年(2004年)4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での同一競技出場は1回限りとする。
- (5) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (6) 以下の場合に限り、複数合同チームの大会参加を認める。
 - ア 部員不足に伴う合同チーム
(各県高等学校体育連盟会長により予選会から参加が認められた場合)
詳細は、全国高体連が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」と専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」による。
 - イ 統廃合対象校による合同チーム。
(統廃合完了前の2年間に限る。)
- (7) 転校・転籍後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)但し、一家転住などやむを得ない場合は、各県高体連会長の認可があればこの限りでない。
- (8) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する各県高体連会長の承認を必要とする。
- (9) 参加資格の特例
 - ア 上記(1)・(2)に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、県高体連会長が推薦した生徒について、全国高校総体開催基準要項の「大会参加資格の別途に定める規程」に従い大会参加を認める。
 - イ 上記(4)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。
- (10) その他、北信越高等学校体育連盟大会参加規定に準ずる。

9 参加制限

- (1) 出場は、各種目とも各県予選会の6位までの入賞者とする。但し、走高跳・男子棒高跳については、各県予選会の6位までの入賞者6名とする。5000m 競歩については各県予選会の5位までの入賞者とする。男子八種競技、女子七種競技、女子三段跳、女子ハンマー投については各県予選会の4位までの入賞者とする。女子棒高跳については各県予選会の4位までの入賞者4名とする。
- (2) 1種目1校3名以内とする。但し、リレーは1校1チーム6名以内とし、同一人は3種目以内(リレーは除く)とする。

- (3) 外国人留学生については、1校男女共に4名以内とし、1種目1校1名の出場とする。(この種目にはリレーも含む)但し、リレーに出場する場合は個人種目と合わせて、男女共に1校最大4種目とする。

10 全国大会出場資格

- (1) 出場は、各種目とも本大会6位までの入賞者とする。ただし、走高跳・男子棒高跳については、6位までの入賞者6名とする。
- (2) 5000m 競歩については5位までの入賞者とする。女子三段跳、女子ハンマー投については4位までの入賞者とする。女子棒高跳については4位までの入賞者4名とする。
- (3) 男子八種競技・女子七種競技は、3位までの入賞者に加えて、各地区予選会の4～6位までの入賞者から上位者5位(地区予選会記録順)とする。

11 参加申込

- (1) 出場校の申込責任者は、アスリートランキングドットコムにアクセスし、富山県の大会一覧から参加申込書類の様式をダウンロード後、必要部数を複写し、参加申込書を作成すること。ただし、押印コピーは不可とする。
- (2) 各県委員長は、以下(3)の参加申込書類をとりまとめ、(4)の申込先へ簡易書留またはレターパックで送付すること。
- (3) 申込書類(アスリートビブスは各県の割当番号の範囲で各県委員長が記入すること)

- | | |
|--------------------------------|---------|
| ア) 県別参加選手ならびに役員参加申込書 | 1通(様式1) |
| イ) 各県予選会成績表(8位まで記入のもの) | 男女各1通 |
| ウ) 各県予選会プログラム | 1部 |
| エ) 参加料・プログラム代金納入明細書 | 1通(様式4) |
| オ) 学校別アスリートビブス一覧表 | 1部(様式6) |
| カ) データ入力済みUSBメモリー | 1個 |
| キ) 混成走高跳跳び始め調査・ハンマー左投調査1通(様式7) | |

※ア)～キ)については各県の委員長が作成のこと。

- | | |
|--------------|------------|
| ク) 学校長の参加申込書 | 男女各1通(様式2) |
| ケ) 競技者個人申込票 | (様式3A) |
| コ) リレー申込票 | (様式3B) |
| サ) 学校別宿泊申込書 | 2通(様式5) |
| シ) 納入金明細書 | 1通(様式8) |

※ク)～シ)については参加各学校で作成し、各県の委員長に提出のこと。

(4) 申込先

〒939-1521 富山県南砺市苗島443

富山県立南砺福野高等学校内

令和5年度北信越高等学校陸上競技大会事務局

代表 山本 邦彦 宛

TEL 0763-22-2014 FAX 0763-22-3194

Mail: yamamoto-kuni@ed.pref.toyama.jp

- (5) 申込期限 電子データ 令和5年5月31日(水) 必着
書 類 令和5年6月1日(木) 必着

12 参加料 参加料1人2、000円
(開催県指定の振込先に各県委員長が振り込むこと)

13 表彰

- (1) 男子・女子とも総合優勝校には北信越高体連優勝旗、第2位校には準優勝杯、第3位校には3位杯を授与する。トラック・フィールド部門優勝校には優勝杯を授与する。リレー優勝校には優勝杯を授与する。(いずれも持ち回り)
- (2) 男子総合・女子総合、及びトラック・フィールド部門の第1位～第3位には賞状を授与する。
- (3) 男子・女子とも各種目第1位～第8位まで賞状を授与する。
- (4) 前年度、男子総合優勝校及び女子総合優勝校にはレプリカを贈る。

14 宿泊

- (1) 大会参加者(選手・付添)の宿泊申込みは各県で取りまとめ一括して申込むこと。各県委員長は北信越高等学校陸上競技大会事務局に6月1日(木)までに申込むこと。
- (2) 宿泊料金 1人1泊2食 A: 11,000円(税込) B: 9,500円(税込)
1人1泊朝食 C: 9,000円(税込) D: 7,500円(税込)
- (3) 宿舎が決定次第、出場校に連絡する。
- (4) 宿泊および昼食弁当の詳細については、宿泊要項による。

15 諸会議

- (1) 大会役員・委員長会議 令和5年6月15日(木) 10時00分～
- (2) 競技力向上委員長会議 令和5年6月15日(木) 10時45分～
- (3) 監督会議 令和5年6月15日(木) 11時45分～

17 連絡事項

- (1) 競技中の疾病傷害などの応急処置は主催者側において行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。(感染症対策として内科的処置は行わない事とする)
- (2) 引率責任者は、選手のすべての行動に対して責任を負うものとする。
- (3) アスリートビブスは主催者側で作成し、受付時に各校へ配布する。
各県番号割当ては次の通り
新潟 1～200 長野 201～400 富山 401～600
石川 601～800 福井 801～1000
- (4) 受付は、富山県総合運動公園富山県陸上競技場1階ロビーにて下記の時刻で行う。
6月15日(木) 10:00～17:00
6月16日(金)～18日(日) 7:30～16:00
- (5) 補助競技場の開場時間は6月15日(木)の10:00とする。6月15日(木)は14:00より競技を実施するため、主会場の開場時間を10:15～13:00までとする。
- (6) 競技用具の使用は競技場に備え付けられたものに限る。但し、棒高跳のポールは除く。棒高跳のポールの配送については取り扱わない。
- (7) 練習場所と時間については別紙「練習会場使用日程表」に従うこと。特に投てき練習については、各学校監督が付添い安全に十分注意すること。
- (8) 駐車場及び選手控え場所(場所取り)に関しては別紙を参照すること。
- (9) 前年度大会で優勝旗・杯等を授与された学校は、開始式までに返還すること。
- (10) 主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、公益財団法人日本陸上競技連盟個人情報保護方

針に基づき取り扱う。なお、取得した個人情報[※]は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

- (11) 本大会の様子をライブ配信する場合は、参加申込みをおこなった時点で、ライブ配信にも承諾したと見なします。万が一、承諾できない場合は、大会本部に報告願います。

【問い合わせ先】

令和5年度北信越高等学校陸上競技対校選手権大会

大会事務局：富山県高体連陸上競技専門部 山本 邦彦 宛

〒939-1521 富山県南砺市苗島443 富山県立南砺福野高等学校内

TEL 0763-22-2014 FAX 0763-22-3194

※問い合わせは、午前9時～午後3時迄とする。(日・祭日は除く)

競技注意事項

1 競技について

- (1) 本競技会は、2023ワールドアスレティック規則並びに2023年日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項によって運営する。
- (2) 競技者招集について
 - a 招集場所は、本競技場第2ゲートに設ける。
 - b スタートリストはプログラム記載の招集開始時刻1時間前より掲示する。（招集開始時刻までには、招集場所に集合すること）招集開始時刻より点呼を開始する。
 - c 競技者本人がアスリートビブス、競技用シューズのピンおよびシャツ・バッグ等の商標チェックを受け、最終点呼を受けること。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻前に招集所にその旨を申し出て役員の指示に従うこと。
 - d 招集完了時刻に遅れた者はその競技種目に出場できない。
 - e 欠場をする場合は、招集開始時刻までに招集所に置いてある「欠場届」に必要事項を記入し提出すること。
 - f 棒高跳の競技者は「支柱移動申込用紙」（招集所においてある）を競技役員に提出すること。
 - g 招集所から競技場所への移動は係員の指示に従うこと。
 - h 混成競技においては、1日目、2日目の第1種目は招集所で点呼を受けること。ただし、第2種目以降は混成控室にて点呼（トラックは競技開始の20分前、フィールドは40分前）をとった後、係員の誘導により競技場所へ移動する。混成競技者控室は、本競技場地下1階トレーニング室に設ける。
- (3) アスリートビブスについて
 - a 競技者は競技中、胸と背にはっきりと見えるように主催者が用意した2枚のアスリートビブスを付けなければならない。跳躍種目の競技者は胸または背のどちらか一方でもよい。
 - b トラック競技に出場する競技者は、大会本部が用意する写真判定用の腰ナンバー標識を右やや後方に付ける。800m以上のレースおよび4×400mRの第4走者は左右両腰に腰ナンバー標識を付ける。
 - c 1500m以上のレースについては、大会本部が用意するレーンナンバーのビブスを使用する。
 - d 混成競技最終種目では、総合順位の高い競技者から順番に「1」「2」「3」…と順位を示す大会本部が用意するアスリートビブス（胸のみ）を使用する。
- (4) トラック競技での不正スタートは日本陸連競技規則162条の規定通りとする。
- (5) スパイクシューズのピンの長さは全天候舗装につき9mm以下とする。また走高跳及びやり投の場合は12mm以下とし、ピンの数は11本以内とする。またスパイクピンの先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の寸法に適合するように作られていなければならない。
- (6) シューズの靴底（ソール）の厚さについて（WA規則第143条TR5に準ずる）
 - a シューズとは、スパイク、ランニングシューズを含むものである。
 - b トラック種目について、800m未満の種目（4×100mR、4×400mRを含む）は20mm以下、800m以上の種目は25mm以下とする。ただし、競歩については40mm以下とする。
 - c フィールド種目について、三段跳以外の種目は20mm以下、三段跳び25mm以下とする。また、シューズ前部の中心点のソールの厚さは、シューズかかと部の中心点のソール厚さを超えてはならない。
※日本陸連競技規則に準ずる。
- (7) 組・走路順および試技順について
 - a トラック競技における予選ならびに決勝のみのトラック競技のレーンおよびフィールド競技における試技順はプログラム記載の通りとする。
 - b トラック競技における決勝の走路順は番組編成員により公正に抽選し、掲示板に貼りだす。

(8) リレー競技について

- a リレーのオーダーは、各ラウンドとも所定のオーダー用紙に記入し、各組の招集完了時刻の1時間前までに招集場に提出すること。遅れたチームはその競技種目に出場できない。
- b ユニフォームに関しては、色やデザインが同様に同一のチームと判別可能であれば、形状が異なる衣類を着用してもよい。(例：セパレートとランニングシャツなど)

(9) 跳躍競技のバーの上げ方について

下記の通りとする。ただし、天候等の状況により最初の高さおよびバーの上げ方を変更することもある。
1位の決定を要するときは、棒高跳は5cm・走高跳は2cmの上げ下げによって決定する。

走高跳	男子	練習 1m80 1m90	1m85 1m90 1m95 2m00 2m03 以後 3cm
	女子	練習 1m40 1m50	1m45 1m50 1m55 1m58 1m61 以後 3cm
混成 走高跳 (2ピット)	八種	練習 1m45 1m65	1m50 1m53 1m56 1m59 1m62 以後 3cm 2ピットとも同じ高さから開始する
	七種	練習 1m15 1m35	1m20 1m23 1m26 1m29 1m32 以後 3cm 2ピットとも同じ高さから開始する
棒高跳	男子	練習 3m60 4m00 4m40	3m80 3m90 4m00 4m10 4m20 以後 10cm
	女子	練習 2m30 2m70 3m00 3m30	2m40 2m50 2m60 2m70 2m80 以後 10cm

※ 三段跳の踏切板は、砂場まで男子12m、女子9mとする

※ 棒高跳の練習はゴムバー使用

(10) フィールド競技について

- a フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側(走高跳では助走路内)に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1つだけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置く。マーカーは、それぞれの審判員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。
- b コーチングエリアを設ける。そのエリア以外での助言等は禁止する。

(11) 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技の妨げにならない範囲で認めるものとする。ビデオ等による助言は認めるが、競技者が視聴可能なコーチングエリアのみとする。ただし、競技者が機器の操作をすること、競技者が視聴の為に勝手に当該競技エリアから離脱すること、助言者からの文章による連絡は認められない。また、ビデオ・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器などを競技区域内で所持または使用することはできない

(12) 競技用具について

競技場備付のものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは、検査の上私物の使用を許可する。

検査所 棒高跳・・・当該跳躍場

(13) イエローカード(以下、YC)について

- a WA競技規則CR18.5の規定により、TR6、16.5、17.14、17.15.4、25.5、25.19、に違反があった競技者やリレーチームにYCを提示し警告を与える。この場合他の種目との合算は無く、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。
- b 同一種目で2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以後の他の種目の出場は可能である。YCを提示の累積は、当該種目のみに適用する。

2 表彰について

- (1) 各種目8位までの入賞者は、成績発表後に本部前で表彰を行うので表彰者控所（競技場玄関ロビー）に集合すること。（競技役員の指示に従うこと）
- (2) 男女総合、トラック・フィールド競技の部は男女それぞれ3位まで表彰する。

3 応援について

- (1) 競技に支障のあるような応援はしないこと。
- (2) 競技試技中の集団応援はサイド、バックスタンドの2階席スタンドで行うこと。フィールド競技（混成競技も含む）の予選については競技進行上、手拍子応援を求めない。
- (3) ホームストレート延長線上のサイドスタンドでのテント設営、横断幕、のぼり旗は禁止する。
- (4) 横断幕・のぼり旗などの応援布は芝生スタンドより上のフェンス及び手すりのみ許可する。
- (5) メインスタンドでの集団応援、最前列に立っての応援、テント設営は禁止とする。
- (6) テント等の待機場所は、指定以外の場所は禁止とする。

4 応急処置について

大会期間中の事故については本競技場医務室にて応急処置のみ行う。怪我等への対応のみとし、発熱等内科的処置は行わない。

5 その他

- (1) 競技場に商品名のついた衣類、バッグを持ちこむ場合は日本陸連「競技会における広告および展示物に関する規程」に順守すること。規定外の見えないようにテープを貼って対処すること。
- (2) トラック種目の衣類運搬について
100m・200m・1500m・3000m・5000m・100mH・110mH・3000mSC・5000mW・4×100mRの第4走者の衣類については、フィニッシュ地点まで運搬する。なお、4×100mRの第1～3走者については、衣類運搬を行わないので、本人が出走した地点へ戻ること。
- (3) メインスタンド下通路（大会運営室側）は、競技者の通行ができない。競技終了後は第1ゲートから出てスタンドの外側を通ること。ただし、フィールド競技が終了し競技役員誘導の退場の際や、入賞者は通路を通過して表彰者席へ誘導する。
- (4) 競技場の開場について
6月15日（木）の主会場の開場時間は10：15～13：00とする。補助競技場の開場時間は10：00とする。
6月16日（金）～18日（日）は主会場・補助競技場とも7：00以降とする。
- (5) 学校受付は、富山県総合運動公園富山県陸上競技場地下1階ロビーにて下記の時刻で行う。
6月15日（木） 10：00～17：00 6月16日（金）・17日（土） 7：30～16：00
6月18日（日） 7：30～12：00
- (6) 本競技場の場所取り（メインスタンド下コンコース）、補助競技場は各県別に区切って割り当てる。
- (7) 写真・ビデオ等の撮影について
撮影禁止エリアでの撮影を禁ずる。また、競技に支障の出るような撮影は控える。（競技開始時にシャッター音の出る機材での撮影など。）盗撮と疑われる撮影者には、競技役員が声をかけることがある。